

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2022年 5月 13日

静岡県知事 川勝 平太 殿

提出者

住所 静岡県富士市中之郷575番地1

氏名 コアレックス信栄株式会社

代表取締役 黒崎暁

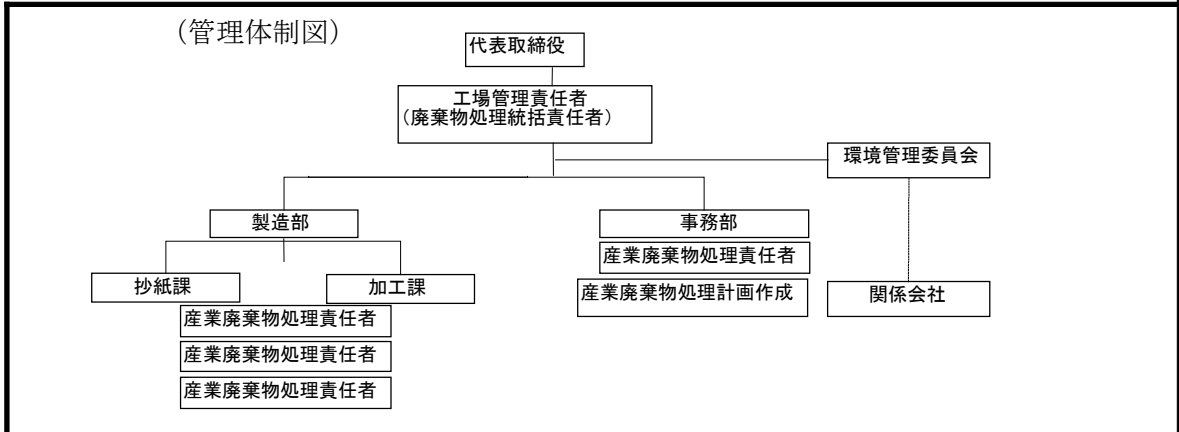
電話番号 0545-56-2513

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	コアレックス信栄株式会社
事業場の所在地	静岡県富士市中之郷575番地1
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	紙・パルプ製造業
②事業の規模	古紙を原料としたトイレトペーパーの製造販売 2021年度製品出荷額162億円/年
③従業員数	140名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (2022年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ペーパースラッジ (有機性汚泥)	廃プラスチック類
	排出量	27537.76t	3108.82t
	(これまでに実施した取組) ・ペーパースラッジ (有機性汚泥) 出来るだけ良い原料を仕入れ仕込む事によりスラッジの発生量を抑制。 ・廃プラスチック類 原料入荷時のチェックを念入りに行う。		
②計画	【目標】 (2023年度)		
	産業廃棄物の種類	ペーパースラッジ (有機性汚泥)	廃プラスチック類
	排出量	26987t	3045t
	(今後実施する予定の取組) ・ペーパースラッジ (有機性汚泥) 出来るだけ良い原料を仕入れ仕込む事によりスラッジの発生量を抑制。 ・廃プラスチック類 今後も継続して、原料入荷時のチェックを念入りに行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・産業廃棄物の種類・・・ペーパースラッジ ・分別に対する取り組み・・・工程毎に発生したものを保管する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・産業廃棄物の種類・・・ペーパースラッジ ・分別に対する取り組み・・・今後も継続して工程毎に発生したものを保管する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ペーパースラッジ (有機性汚泥)	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・平成29年度自ら行う産業廃棄物の再生利用はありません。 ・ペーパースラッジは平成22年度より全量他社にて燃料化。		
②計画	【目標】（2023年度）		
	産業廃棄物の種類	ペーパースラッジ (有機性汚泥)	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も他社にて全量燃料化を行っていきます。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ペーパースラッジ (有機性汚泥)	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・平成29年度自ら行う産業廃棄物の再生利用はありません。 ・ペーパースラッジは平成22年度より全量他社にて燃料化。			
②計画	【目標】（2023年度）		
	産業廃棄物の種類	ペーパースラッジ (有機性汚泥)	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・繊維分の取りこぼしがまだまだ多いので、設備の改良により取りこぼしを少なくしていく。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ペーパースラッジ (有機性汚泥)	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分は行っていません。		
②計画	【目標】（2023年度）		
	産業廃棄物の種類	ペーパースラッジ (有機性汚泥)	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はありません。		

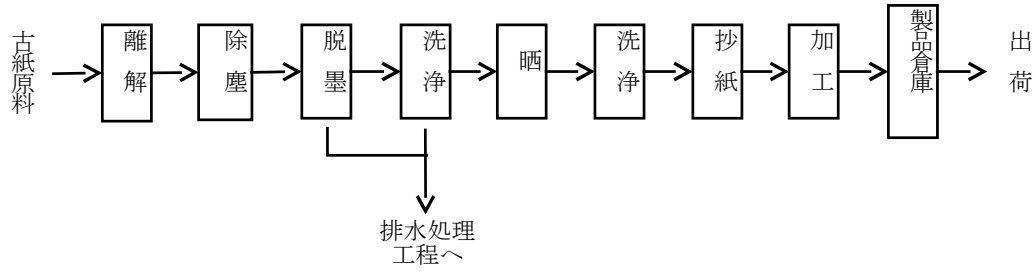
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ペーパースラッジ (有機性汚泥)	廃プラスチック類
	全処理委託量	27537.76t	3108.82t
	優良認定処理業者への処理委託量	3368.11t	1554.95t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	24169.65t	1553.87t
	(これまでに実施した取組) ・原料の仕込み配合等を調整する事により、廃棄物の発生抑制に努め、委託量においても削減できるよう努力しています。		

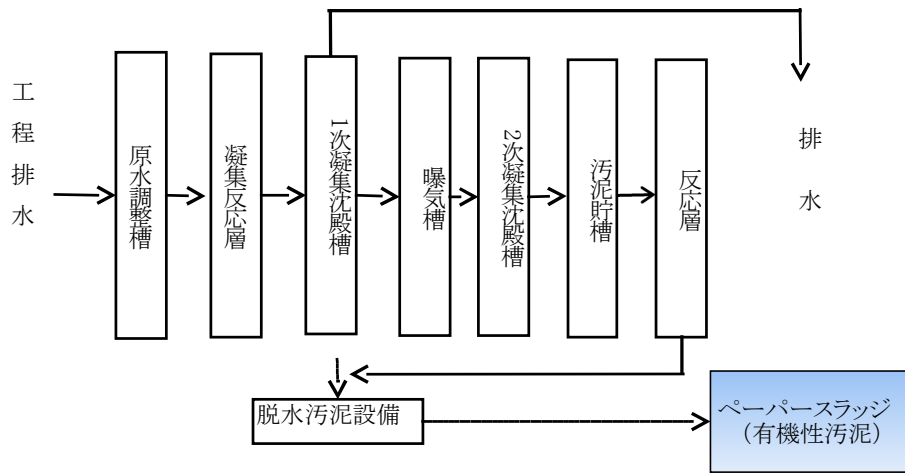
②計画	【目標】 (2023年度)		
	産業廃棄物の種類	ペーパースラッジ (有機性汚泥)	廃プラスチック類
	全処理委託量	26987t	3045t
	優良認定処理業者への処理委託量	6000t	1600t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	20987t	1445t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 原料の仕入れ及び仕込み配合等を今以上に調整し、廃棄物の発生抑制に努め、できる限り委託量も削減していきたいと考えています。 			
※事務処理欄			

■別紙1

【図1】紙製造フローシート



【図2】排水処理フローシート



【図3】廃棄物処理フローシート

